


# STORE EVOLUTION

 お客様とアリガをつなぐコミュニケーション情報誌

## 特集 STORE IMPACTS !!

✓今、注目すべき店舗

“ライブ感”の演出によるコミュニケーションの創出  
フードウェイ 小戸店／福屋五日市店

✓エネマネ事業者活用補助金で投資額の2/3の補助金採択

- ・実績店：『ESCA MALL 武生楽市(中部土地開発株式会社)』
- ・実績店：『サンモール 桜町店(株式会社サンモール)』
- ・実績店：『せんだう 東金プラザ店(株式会社せんだう)』

✓地域保育の拠点施設『駒沢どろんこ保育園(認可保育園)』

✓インフォメーション



# “ライブ感”の演出によるコミュニケーションの創出 フードウェイ

本社：福岡市西区小戸3丁目24-53

フードウェイグループは、九州北部エリアを軸として関東・東海エリアへの出店を重ね、現在フードウェイ24店舗、ミートイン・ハイマート34店舗ほかを運営する、年商200億円に迫る伸び盛りの企業だ。なかでも「フードウェイ」は、“ライブ感”の演出によるお客様とのコミュニケーションづくりにこだわり、活気ある店舗づくりを目指しているという。今回はその旗艦店である「小戸店」と、百貨店の地下という好立地に展開する戦略店舗「福屋五日市店」の取材を通じ、年配から若年まで幅広い層に受け入れられる店作りへの熱い想いに迫った。

## “ライブ感”の演出で、ひとつひとつの売場に物語を創る。

平成3年7月、それまで9年間勤めていた精肉会社を辞して、後藤社長は仲間数名と「ミート・イン・ハイマート」を福岡の地で創業した。順調に出店を続けるなか、平成12年からスーパーマーケット事業へと進出、現在では「フードウェイ」24店舗など、食を扱う5つの業態を展開し、順調に業績を伸ばし続けている。

そうした成長戦略のなかで後藤社長が最も力を入れてきたのが、お客様とのコミュニケーションを促進する「ライブ感」の演出だという。それはどんな内容なのだろうか。

創業以来、後藤社長は一貫してひとつのスローガンにこだわり続けてきた。それが「炎の商人（あきんど）」たれという熱い想いだ。自分たちが真心込めてつくったものに自信を持ち、精一杯の努力でお客様に提供しよう、というそのポリシーは全店舗の朝礼で繰り返され、社員ひとり一人に浸透している。「ライブ感」の演

出という切り口は、そうした「炎の商人」としての想いを表現できるひとつの手法なのだ。

売り場のひとつひとつに物語を創る。主人公はそこで働くスタッフ、観客はお客様方だ。青果ならば、お客様の目の前でカットしながら試食して頂く。鮮魚ならば、お客様の希望する調理方法を相談しながら、目の前で上身・下身・中骨の3枚におろす。惣菜ならば、鉄板の前でお客様のオーダーを聞きながら、オリジナルのお好み焼を焼き上げる。

売り場というステージで、まるで小劇場に居るかのようなライブ感あふれる演出を通じ、スタッフの誰もが「炎の商人」としてサービスを提供して

いるのだ。

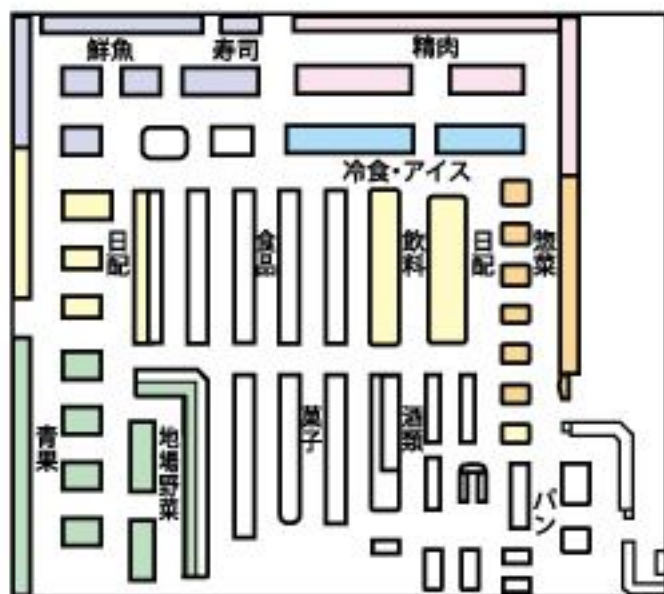
しかも、フードウェイの魅力はこれだけではない。九州地区においては青果、鮮魚、精肉、食品・惣菜などの各売り場をできる限り直営体制とすることで、時機に応じたイベントやセールを綿密にプランニングしているのだ。マグロの解体ショーなど目玉イベントをタイムリーに展開するなど、顧客の心をつかむ仕組みがここにある。



# 全て直営だからこそ、時機に応じた展開が行える。(小戸店)

福岡市西区のフードウェイ本社に隣接する「小戸店」は、いわば同社の旗艦店と言える。品質の高さや圧倒的な品揃えは地元から高く支持されており、眼前に広がる小戸公園でBBQやお弁当を楽しむ人々の利用も絶えない。

ここ小戸店では、青果、鮮魚、精肉、食品・惣菜の全てを、テナントではなく直営で展開している。地元九州は食材の宝庫であり、例えば鮮魚ならばアジやサバなど地物の青魚が一匹単位で並ぶ。直営だから、シケで水揚量が少ない日は青果で盛り上げる等のリカバリーも容易だ。いかにライブ感を演出するのか、お客様にとって働くスタッフたちの手腕も見所のひとつとなっているようだ。



■ 小戸店 平面図



小戸店

ミートコーナーでは2名のクッキングサポートスタッフが、天井りのデジタルサイネージの映像を紹介しながら、様々な肉料理を提案している。もちろんお客様のご要望に応じ、対面しながらのミートのグラム販売も行い、ライブ感を楽しめる。



小戸店

鮮魚コーナーでは、丸ごと一匹単位での販売が中心だ。しかしお客様のなかには一匹のままでは調理しづらいという方も多いため、対面で様々な要望を伺いながら、魚のプロである鮮魚士がさばっている。



小戸店

青果コーナーでは、お客様の目の前で旬の野菜をカットしながら、時には試食してもらったり、ライブ感満載のブースを設け対面販売を行っている。また産直品のコーナーを設けるなど、鮮度にこだわった品揃えもアピールしている。

## Voice

### 高齢の方にも、ぜひ来店し楽しんでほしい。

いま我が国では高齢化が進行し、宅配に頼って外出しない方が増えているようです。でも歩くことが出来るなら、私はぜひ近くのフードウェイに気軽にお越し頂きたいと思っています。昔懐かしいお菓子との再会や、見たことの無いめずらしいものに触れ、楽しんで頂きたい。そして皆さんの寄り合い場所としても活用して頂きたい。そうした高齢の方との共生も、スーパーマーケットのこれからのあり方だと思っています。

株式会社フードウェイ 代表取締役社長 後藤 圭介 様



## 産直品を揃えた新業態など、将来への布石は万全だ。

小戸店は本社に隣接していることから、新卒者の研修の場としても活用されている。毎年数十名の若人が、青果、鮮魚、精肉、食品・惣菜の4部門を3ヶ月ずつ異動しながら1年を費やして学び、基礎を身につけて巣立っていく。こうした研修が行えるのも、小戸店の売場が全て直営だからに他ならない。

ライブ感にあふれた賑やかで楽しい演出は小戸店でも目をひくが、ひととき元気に感じられるのはフレッシュな新卒者の存在も一役買っているのだろう。

フードウェイでは、関東進出と平行して、小戸店を中心とした福岡エリアでのさらなる展開を計画している。

その先兵として、2016年3月に福岡市東区にオープンする21世紀の先進モデル都市「アイランドシティ」へは、産直品を揃えた新業態の「フードウェイ・ファーム」を出店する予定だ。市場を過さずダイレクトに仕入れることのできるノウハウが、この店舗にも余すこと無く活かされることだろう。



## 百貨店の地下に相応しい、ハイレベルな店づくり。(福屋五日市店)

広島市佐伯区の日市駅前位置する「フードウェイ福屋五日市店」は、百貨店の地下というステータスを意識しつつも、フードウェイ本来の活気ある店舗づくりを目指した、戦略店舗だ。

福屋五日市店にひろがる活気は、さきほどご紹介した「ライブ感」の演出に凝るところが大きい。百貨店地下という客層を分析しての品揃えや、行灯風の大型照明ディスプレイなど、細部にまで気を

京の高級スーパーマーケット「成城石井」とのコラボレーション企画や、地域のコミュニティエリアとしても機能しているフードウェイ・カフェ(イート・イン・コーナー)なども評判を呼び、最近では高校生など若年層の客足も伸びてきたという。

特筆すべきは、サービスカウンターの充実ぶりだ。フードコンシェルジュを常時待機させてお客様の要望に応えるだ

遣った店作りがしっかりと土台を支えている。

右の写真は酒類のコーナーだが、老舗百貨店の客層を鑑みて、一般的なスーパーマーケットではお目にかかれないようなワインのラインナップも充実させている。

また、関西以西にはまだ進出していない東



けでなく、クイックレジを設置して5点以下の買物のお客様に対応するほか、珈琲豆の量り売りや地元米の精米販売まで行っている。



### フードウェイ小戸店

開店日：平成22年 2月  
営業時間：AM9:30~PM9:00  
売場面積：2007.9㎡  
立地：西区・小戸公園 隣接  
所在地：福岡県福岡市西区小戸3丁目24-53  
電話番号：(092)892-1208

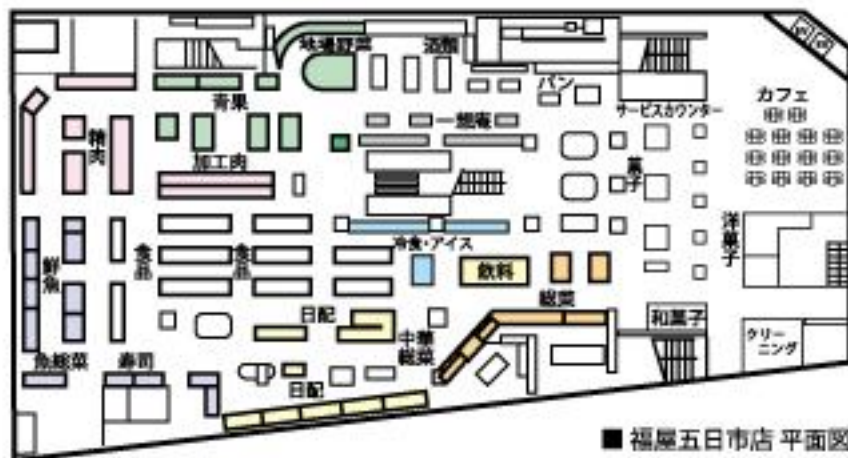
### フードウェイ福屋五日市店

開店日：平成26年 10月  
営業時間：AM10:00~PM8:00  
売場面積：1648.3㎡  
立地：JR・広電五日市駅北口前  
所在地：広島市佐伯区五日市駅前1丁目4-5  
電話番号：(082)961-4500

# 客層を意識しつつ、こだわりの商品開発を。

2015年11月、フードウェイは神奈川県藤沢駅前の「藤沢オーバ」地下1階に、藤沢オーバ店をオープンした。ロードサイド店だけでなく、百貨店、ショッピングセンターなど様々な業態とコラボレーションしながら次々と出店を果たしている原動力として、フードウェイならではの徹底した客層の分析と、地元の人に喜ばれる商品開発へのこだわりが掲げられるだろう。

PB商品のように原価を抑えて販売する方向よりも、各地に息づく特産品をベースにこだわりの商品を開発したい、と語る後藤社長の未来戦略に、大いに期待したい。



■ 福屋五日市店 平面図



福屋五日市店

「一想庵」は、日本全国から著名なお菓子を集め、日替わりで紹介していくコーナーだ。京都の生八つ橋など、人気の商品はまたたく間に売れていき、空いたスペースには次々と新たなお菓子が陳列されていく。



福屋五日市店

地域のコミュニティ、エリアとして活用してもらいたい、との後藤社長の想いを反映し、広めにレイアウトされたイト・イン・スペース。福屋五日市店では「フードウェイ・カフェ」と名付けられ、幅広い層のお客様が利用している。



福屋五日市店

フードコンシェルジュが常時待機しているサービスカウンターは、珈琲豆の量り売りや地元米の精米販売をはじめ、Fペーカリー専用レジとしての機能や、タバコ・おでん・ホットデリ販売などコンビニ的なサービスも行っている。



福屋五日市店

惣菜売場に広がる香ばしい香りがお客様を惹き付ける。出来たての品が次々と目の前に並ぶ様は、ライブ感抜群だ。



福屋五日市店

豊富な種類のパンが目を楽しませてくれるFペーカリーは、フードウェイの直営だ。サービスカウンターにはFペーカリー専用のレジがあり、このコーナーで選んだ商品をダイレクトに購入できる。



今号でご紹介させて頂いた「フードウェイ小戸店」および「フードウェイ福屋五日市店」「フードウェイ藤沢オーバ店」につきましては、私どもア리가が内装および設備全般の施工を担当させて頂きました。その節は誠に有り難うございました。また、今回の取材につきましても快くご承諾くださり、重ねて御礼申し上げます。

# ESCA MALL 武生楽市 (中部土地開発株式会社)



『ESCA MALL (エスカモール) 武生楽市』(店舗面積 13042.41㎡)がある福井県越前市は、福井県のほぼ中央に位置し、北陸自動車道と国道8号線が縦断し、関西圏・中京圏の主要都市や、福井市・敦賀市などの周辺都市との交通の動脈となっている。そのなかで、平成3年より地元の有力ショッピングセンターとして、消費者の大きな支持のもと、堅実に営業してきた同店舗は、今後もその期待に応えるべく全面リニューアルを計画した中で、「CO2の削減」と「省エネ」を図るため、平成26年度補正の「地域工場・中小企業等省エネルギー設備導入促進事業費補助金」を申請し、採択され、それを受けての事業実施となった。平成27年11月11日、リニューアルオープン。



■1500年の歴史があると言われていて、地元「越前和紙」を使ったオブジェ。



■有力テナントのひとつである「TSUTAYA」。



■センタコートの吹き抜けと、エスカレーター。

# エネマネ事業者活用補助金で投資額の $\frac{2}{3}$ の補助金採択



■ 1階にあるキーテナント「フードマーケットヤスサキ」。2階にも衣料品売場を展開している。



■ 飲食テナントの「ミスタードーナツ」。



■ 有力テナントのひとつである百円ショップの「Seria」。



■ 子供の遊び場所として、木の温かみでやさしさを出した、「木のひろば」



■ 今回のリニューアルで、トイレも全面的に改良。授乳室やパウダールーム・キッズトイレも設置。



■ 省エネシステムのEMS表示・設定機器



■ 1階のセンターコート近くにある、憩いのスペース。

## エスカモール武生楽市 省エネ補助金申請内容

補助金種類	26年度補正： 地域工場・中小企業等省エネルギー設備導入促進事業費補助金 エネマネ事業 申請パターン D(I)+(II)		
導入設備/技術概要	1. 照明器具を高効率照明(LED)へ変更し消費電力を削減する。 2. 高効率空調設備を導入し、消費電力を削減する。 3. 照明はEMSにより調光制御を行う。 4. 空調機をEMSにより能力制御とデマンド制御を行う。 5. エネマネ事業者を採用し、EMSで継続的な省エネを行う。		
省エネルギー率	22.7%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:2/3以内)	約273,000千円	約231,000千円	約154,000千円

# サンモール 桜町店(株式会社サンモール)



『サンモール桜町店』(店舗面積 1497.35㎡)がある群馬県沼田市は、群馬県の北部に位置し、赤城山や武尊山など日本百名山に挙げられる山々に四方を囲まれた、自然豊かな街である。

その沼田市を中心に、株式会社サンモールはスーパーマーケットを4店舗、焼肉レストラン、廻転すし店等を展開しており、地元密着の、企業として創業30年を迎えた。その中で、今まで以上に地元のお客様に喜んで頂くために、平成26年度補正の「地域工場・中小企業等省エネルギー設備導入促進事業費補助金」を活用した全面リニューアルを実施、平成27年10月21日にリニューアルオープンとなった。



■外装・看板も一新した、店舗正面。



■省エネを考慮し、高さ1800mm/mの多段ケースを使用。



■平型冷蔵ショーケースを中心とした鮮魚売場。





■地元のお客様の、コミュニティ・エリアの役割も。



■惣菜売場とリンクさせたお酒売場。



■冷凍ケースには、省エネ効果大きいガラスライド扉をオプションで設置。



■省エネシステムの「EMS盤」・「エコマスター」



■省エネシステムの「EMS表示・設定盤」・「ショーケースシステム盤」・「空調システム盤」



■楽しいデザインで売場を引き立てている、惣菜売場。

## (株)サンモール 桜町店 省エネ補助金申請内容

補助金種類	26年度補正： 地域工場・中小企業等省エネルギー設備導入促進事業費補助金 エネマネ事業 申請パターン D (I) + (II)		
	導入設備/技術概要		
省エネルギー率	34.4%		
事業費(消費税別) (補助率:2/3以内)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
	約120,000千円	約103,800千円	約69,000千円

## せんだう 東金プラザ店(株式会社せんだう)



「株式会社せんだう」は、千葉県の中央部から南部にかけて22店舗を展開している、千葉県有数のスーパーマーケットであり、競合企業の進出が激しい地区においても新規出店を続け、積極的な展開を行っている。

省エネ関連の補助金については、平成23年度補正の「建築物節電改修支援事業」において、島野店が採択、事業実施しており、今回の東金プラザ店(店舗面積 2874.87㎡)は、平成26年度補正の「地域工場・中小企業等省エネルギー設備導入促進事業費補助金」で2店目の補助金事業実施となっている。また、古市場店も同様に補助金採択され、1月事業実施となっており、「省エネ・CO2削減」の意識が非常に高い企業である。



■ファサード看板の「SENDO」の文字はほぼ全店同じで、大きく、よく目立つ看板となっている。



■生鮮食品は、「せんだう」の最も得意とする分野であり、「品質・鮮度・価格」は大きな武器となっている。

# エネマネ事業者活用補助金で投資額の $\frac{2}{3}$ の補助金採択



■鮮魚売場と惣菜売場は同じデザインで、色の違うテントを使用し、センスのあるコーナーとなっている。



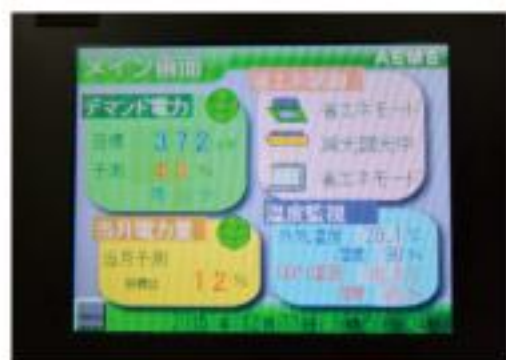
■冷凍平型ケースには、省エネ効果大きいガラススライド扉と、リーチンケースを併用。



■ケース上には、大きな図柄のデザインを施されており、ダイナミックな壁面となっている。



■省エネシステムの「EMS壁」、「エコマスター」、「EMS表示・設定壁」



## (株)せんだう 東金プラザ店 省エネ補助金申請内容

補助金種類	26年度補正： 地域工場・中小企業等省エネルギー設備導入促進事業費補助金 エネマネ事業 申請パターン D (I) + (II)		
導入設備/技術概要	1. 照明器具を高効率照明(LED)へ変更し消費電力を削減する。 2. 高効率冷凍冷蔵設備を導入し、EMSにて最適運転制御を行う。 3. 照明はEMSにより調光制御を行う。 4. 空調機をEMSにより節力制御とデマンド制御を行う。 5. エネマネ事業者を採用し、EMSで継続的な省エネを行う。		
省エネルギー率	20.1%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:2/3以内)	約103,000千円	約93,000千円	約62,000千円



駒沢どろんこ保育園(認可保育園)

店員100名を超える大型施設であり、マンション(住居)の2Fに設けられたテナント型(首都圏型)の認可保育園です。本施設は世田谷区の特権児童解消という子育て支援施設を狙い、且つ地域子育て支援センター、発達支援センター(名称:つむぎ)も併設しており、地域保育の拠点となる施設です。

内装はカフェ風のシンプルモダンでありながら、木のぬくもりも感じられ、地域の母親連のコミュニティーを目的とし、とても居心地の良い空間となっています。



所在地: 東京都世田谷区駒沢2-19-14サンライズ会館1,2階

規模: 延床面積315.8坪(内、認可保育園255.8坪、発達支援センター40坪、地域子育て支援(カフェ)20坪)

開工: 2015年4月1日

事業会社: 社会福祉法人 どんぐり会

## INFORMATION

### 東京ビックサイト等で開催される展示会のご案内

1月13日(水)~15日(金)	ライティングジャパン2016	照明の開発・製造技術とあらゆる照明器具が一堂に出展する照明の専門展
1月13日(水)~15日(金)	第6回国際照明器具EXPO	省エネ照明、スマートライティング、デザイン照明などが出展
1月20日(水)~22日(金)	SCビジネスフェア2016	SC関係者が一堂に集まる唯一の展示会……パシフィコ横浜展示ホール
1月27日(水)~29日(金)	ENEX2016	始まる省エネの新展開 ~デマンドサイドからトータルマネージメントへ~
2月10日(水)~12日(金)	スーパーマーケットトレードショー2016	フードビジネスの起点! 小売・中食・外食業界の垣根を超えた商談展示会
2月10日(水)~12日(金)	デリカテッセン・トレードショー2016	お弁当・惣菜部門に特化した商談展示会
2月10日(水)~12日(金)	外食FOOD TABLE 2016	飲食店に向けた食材・設備・備品・サービスを提案する商談展示会
2月16日(火)~19日(金)	HCJ 2016 ホテル・レストランショー	ホテル・旅館・飲食・給食・弁当サービス業界の方のための合同展示会
2月16日(火)~19日(金)	HCJ 2016 フードケイタリングショー	ホテル・旅館・飲食・給食・弁当サービス業界の方のための合同展示会
2月16日(火)~19日(金)	HCJ 2016 厨房設備機器	ホテル・旅館・飲食・給食・弁当サービス業界の方のための合同展示会

お問い合わせ

# STORE EVOLUTION

2016 winter vol.5

株式会社アリガ 広報誌編集室 発行責任者: 三宅 耕平  
東京都新宿区北新宿4-17-6 アリガビル Tel. 03-3364-2571(代)

<http://www.ariga-grp.co.jp/>

表紙写真: フードウェイ小戸店(左)、フードウェイ福屋五日市店(右)